分子軌道のトポロジーと分子配列に着目した多機能光応答システム

京都大学大学院工学研究科・松田建児

E-mail: kmatsuda@sbchem.kyoto-u.ac.jp

1. はじめに

フォトクロミック化合物を分子エレクトロニクス素子として用いることを考えると、表面での配列制御は不可避の課題である・・・

・・・

2. 協同的表面分子配列とその光応答

フォトクロミックジアリールエテンを用いた固液界面でのSTMによる表面配列の光応答・・・

・・・

最近我々は、固液界面での表面被覆率の濃度依存性に対して協同性モデルを適用することにより、分子配列の協同性パラメータを求めることに成功した1)。・・・

・・・

文献（必要であれば最後に記してください）

1) S. Yokoyama, T. Hirose, K. Matsuda, *Chem. Commun*. **2014**, *50*, 5964-5966. (このような形式で)

・・・

---------------------

タイトル：ゴシック14ポイント、中央寄せ

（計画班研究代表者は、計画調書のタイトルと同じものにしてください）

発表者：ゴシック11ポイント、右よせ

メールアドレス：Times, Times New Roman系11ポイント、右寄せ

内容：1. はじめに、2. 以降は適宜項目をつけてください。11ポイント明朝、行間「１行」

余白：上下左右すべて25 mm

分量：１ページ

図：わかりやすい図を入れてください。カラー印刷しますのでカラーの図はそのままカラーで貼り付けてください。

**締切：１２月２５日（火）**